

令和8年度温泉賦存量調査業務委託提案競技審査基準等について

1. 審査基準

評価項目	評価基準	配点
I 業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の遂行に必要な組織、人員を有しているか。</li> <li>・温泉賦存量調査に関する十分な実績を有しているか。</li> </ul>	10
II 提案内容	(1) 既存資料調査 ・調査対象とする既存資料は、大分市内の温泉の位置情報と掘削日及び温泉水の起源や地下熱水の流動状態、採取量・泉温の変遷などについて把握できる内容を含むものになっているか。	10
	(2) 地形地質調査 ・大分市内の温泉の流動や滞留等と関係する大分平野の地層層序、地質構造や熱源などについて検討し、地熱系概念モデルに反映できる手法の提案になっているか。	15
	(3) 地化学調査 ・既存資料調査、現地調査および温泉成分分析結果に基づき、大分市の温泉の生成機構や温泉帯水層温度、流動状況などについて検討する手法の提案になっているか。 ・温泉水の化学組成や泉温が経時的に変化している場合には、その原因についても検討できる手法の提案になっているか。	15
	(4) 地熱系概念モデルの作成 ・温泉の流動を規制する地質構造や地下温度分布、温泉の生成機構、化学的特性、流体流動などについて総合解析を行い、それらを表現した地熱系概念モデルを構築できる手法の提案になっているか。	10
	(5) 数値シミュレーション ・温泉水の流動状態や温度の経時変化、揚水試験中の温泉帯水層の圧力の経時変化などを再現できる温泉帯水層の3次元モデルを構築できる手法の提案になっているか。 ・その数値モデルを用いて、県が提示する条件について将来の温泉帯水層圧力変化、泉温変化等について予測計算を行い、温泉の賦存量及び限界揚湯量を算定しており、新規掘削にともなう許容可能な離隔距離について検討・提案できる手法の提案になっているか。	10
	(6) ツール・経費 ・数値シミュレーションに使用するソフト等及び経費の積算は妥当か。	10
	(7) 独自の提案 ・本業務の目的にかなう独自の提案や工夫等がみられるか。	10
III 事業効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非火山性地域の温泉の保護及び利活用に向けた評価分析方法になると期待できる提案であるか。</li> </ul>	10

2. 審査会における審査

・提案書及び審査会でのプレゼンテーション等をもとに、審査委員が上記審査基準によって審査し、各委員の審査結果を踏まえ、業務委託候補者を決定する。

・ただし、平均点が同一の場合においても、審査委員の協議により決定する。